

Premium所内研修会報告書		整理番号	
テーマ	大林組のICTおよびBIM/CIMの取り組みについて		
研修会次第			
日時	令和2年11月20日(金) 13:30~15:00	参加者	35名
場所	一般財団法人 先端建設技術センター 大会議室 WEB併用講演方式(Microsoft Teams)		
講師	株式会社大林組 土木本部本部長室i-Conセンター ①高橋 寛氏、②田摩 仁氏、③湯浅 知英氏		
講演内容			

- ICT利用による働き方改革への取り組み
 - ICTツールの現場施工管理への適用事例の紹介
 - BIM/CIMの取り組みの現状
 - 土木現場におけるBIM/CIM取り組み事例の紹介
 - 土木躯体工事におけるCPSを活用した施工管理システムの開発
 - 構造物工の施工管理へCPS(Cyber Physical System)、いわゆるデジタルツイン技術を適用し、建設生産システムの変革を目指す取り組みの紹介
- ※東京大学i-Constructionシステム学寄付講座での共同研究

【参考】「大林組の先端技術」

URL <https://www.obayashi.co.jp/solution technology/civil engineering structures/011detail14.html>



講師:i-Conセンターのメンバー



研修状況

【研修会資料より抜粋】

Struction Siteのご紹介

現場の画像とBIMモデル(Navisworks)を比較することができる

OBAVASHI

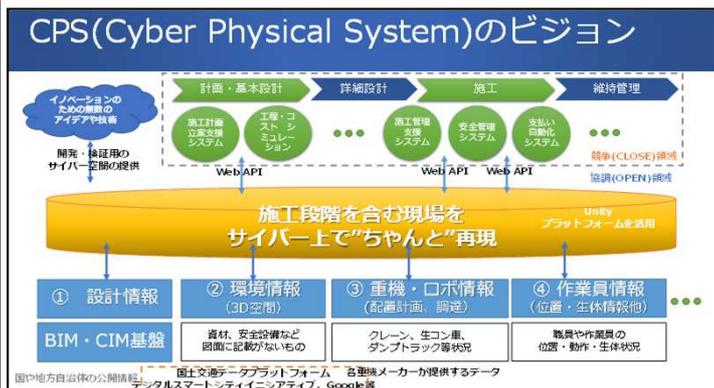
ICTツールの例(Struction Site)

4. BIM/CIMモデルの活用

4.3 部材の干渉チェック

- BIM/CIMモデルを用いて、鋼材と鉄筋、鉄筋同士の干渉を自動でチェック
 - ※) Navisworks Manage (Autodesk社)
- 干渉する場合は、BIM/CIMモデル上で鋼材や鉄筋をずらすことで施工可能であることを確認し施工に反映
 - ※) 3次元配筋図の修正は行っていない。

BIM/CIMモデルの活用



構造物工へのCPS適用の取り組み(1)

①開発物の最終イメージ(2) (案)

構造物工へのCPS適用の取り組み(2)